

神戸大学交響楽団

'97 SUMMER CONCERT



神戸大学交響楽団
'97 Summer Concert

PROGRAM

序曲 ト短調 ブルックナー

Ouverture g-moll / Josef Anton Bruckner

指揮 松 井 真之介
コンサートマスター 林 康一郎

交響曲 第5番 変ホ長調 作品82 シベリウス

Symphonie Nr. 5 Es-Dur Op. 82 / Jean Sibelius

1. Tempo molto moderato-Largamente

2. Allegro moderato-Presto

3. Andante mosso, quasi allegretto

4. Allegro molto

指揮 井 崎 正 浩
コンサートマスター 清 水 宏 樹

<休 憩>

交響曲 第2番 ホ短調 作品27 ラフマニノフ

Symphony No. 2 in E minor Op. 27 / Sergei Vassilievich Rakhmananov

1. Largo-Allegro moderato

2. Allegro molto

3. Adagio

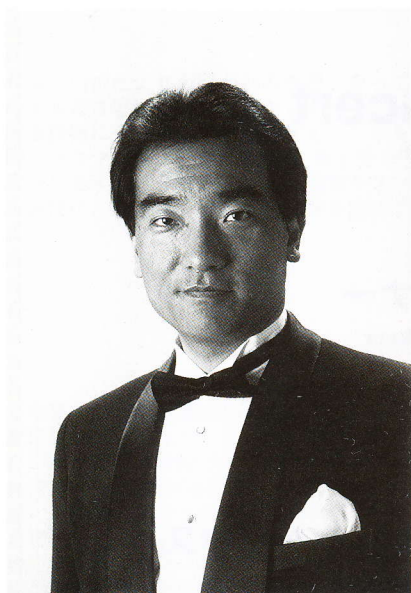
4. Allegro vivace

指揮 井 崎 正 浩
コンサートマスター 清 水 宏 樹

日時 1997年7月4日(金) 19:00-

場所 尼崎市総合文化センター・アルカイクホール

後援 兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社



客演指揮 井 崎 正 浩

'95年5月のブダペスト国際指揮者コンクールに優勝以来、一躍注目を集め始めた指揮者。これまでにハンガリー国立交響楽団、ブダペスト交響楽団、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団(ブダペスト・フィル)、セゲド交響楽団等のハンガリーの主要オーケストラを指揮し、どれも高い評価を受けている。またコンクール中の演奏をハンガリー国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年11月同劇場に招かれレハール作曲「メリー・ウィドウ」を指揮してデビュー、それまでの伝統を踏まえた上での新鮮な音楽作りに、聴衆だけでなく演奏者の圧倒的支持を受け大成功を収め、その模様は国営テレビによってハンガリー全土に生中継された。また96年1月同劇場初の日本公演にも指揮者の一人として同行して成功に導きその手腕を絶賛され、「音楽の友」誌上の特集「コンサート・ベストテン'96」にも選ばれた。加えて特筆すべきはこれまでのハンガリー国内での演奏のほとんどが国営テレビ・ラジオで中継あるいは放送されており、現在ではハンガリーで最もよく知られた日本人のひとりとなっていることである。「ヨーロッパの精神をもった指揮者」(マジャール・ヒールラップ紙)、「日本人離れをした才能と感覚」(読売新聞)等の評価が高まる一方、ミューヴェス・ハーズ社(ハンガリー)と契約し、オペレッタCDがこれまでに2枚リリースされた。日本では同年1月に東京シティーフィルのニューイヤークンサートを指揮してデビューを飾って以来、これまでに読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等を指揮しどれも高い評価を受けている。また声楽を専攻していた特技を生かしオペラやオペレッタ公演にも積極的に取り組む一方、合唱指揮者としても日本フィルハーモニー協会合唱団の常任指揮者を務めるなど幅広い活動を行なっている。今後も日本、ハンガリー国内での多くのオーケストラやドイツ、ルーマニア、スイスでのデビューを控え、これからの活躍にも大きな期待が集まっている。

指揮法を安永武一郎、故カール・エスターライヒャー、ギュンター・トイリング、湯浅勇治、遠藤雅古、伊藤栄一の各氏に師事。福岡教育大学音楽科卒業、東京学芸大学大学院(作曲・指揮法講座)修了、オーストリア国立ウィーン音楽大学(オーケストラ指揮科・合唱指揮科・作曲科)に文部省派遣給費留学。

トレーナーの先生方

- | | |
|---------|------------------------|
| 後 藤 良 平 | (京都市交響楽団・ヴァイオリン奏者) |
| 西 口 勝 | (京都市交響楽団・コントラバス奏者) |
| 宇治原 明 | (大阪フィルハーモニー・首席ファゴット奏者) |
| 宮 村 聡 | (京都市交響楽団・首席トランペット奏者) |

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。